

会 議 記 録

会議名称		第5回杉並区肺がん検診外部検証等委員会
日時		平成30年10月16日（火）午後6時58分～午後9時07分
場所		杉並保健所 地下1階 講堂
出席者	委員名	竹内会長、亀井委員、中西委員、中山委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長、地域保健・医療連携担当課長、健診係長、地域保健担当係長、健診係
会議次第		1 開会 会長あいさつ 2 議題 (1) 再発防止に向けた提言について (2) その他

会議要旨

1 開会

2 議題

(1) 再発防止に向けた提言について

○ 指定医療機関制度について

- ・医師会判定会の読影専門医の認定は、医師会が判断するのではなく、区、医師会、学識経験者で構成される組織で認定すれば良いのではないかと。そういった組織で、読影医の審査基準を作りそれを確認すればよいのではないかと。そうすることで、医師会判定会の専門医の位置づけが可能となれば、指定医療機関制度については廃止という方向で考えるのが妥当だと考える。

○ 区肺がん検診以外の胸部エックス線検査の必要性について

- ・区肺がん検診以外の区民健診のエックス線検査は、肺がん検診としてのエックス線撮影方法や二重読影・読影医の資格等の基準を設けない形で運用されてきた経緯があり、質が担保できない。
- ・肺がん検診以外の胸部エックス線検査と区肺がん検診の胸部エックス線検査とは、同じエックス線撮影なので区民は同様の検査であると間違った認識を持つてしまうのではないかと。

○ 河北健診クリニックにおいて区民健診や区肺がん検診と人間ドックとセットで実施していることについて

- ・任意型検診として腫瘍マーカーや口腔内検診など科学的根拠のないものが混在しており、かつ結果の判定方法や受診者への伝え方など精度管理に大きな問題がある。
- ・科学的根拠がはっきりしない任意型検診である人間ドックと区の対策型検診とをあたかも

一つの検診として運用している点に問題がある。

- ・河北健診クリニックの人間ドックの案内チラシは、どこに問題点があるかを明らかにするため、最終答申の参考資料として添付すべきである。

○ 総合判定

- ・一次判定、二次判定が異なる場合は、より重い判定を採用すればよいのではないか。
- ・一次判定で要精検の場合は、二次判定に回すことなく実施医療機関が受診者に要精検である旨伝え、精密検査に誘導すれば良いのではないか。